市政 Hot Topics

旬な話題をいち早くキャッチ！

富士吉田市制施行63周年記念式典

今年で本市は、市制施行63周年を迎えます。記念式典では、本市の自治の振興に貢献してくださった方を表彰し、また、市政の振興にご協力いただいた方や市民の模範と認められる善行があった方々に感謝の気持ちを込め、感謝状を贈呈します。今年も多くの方々が本市の発展のためにご活躍してくださいました。多くの市民の皆さんにご参列いただき、共に市制63周年を祈念していただきたいと思います。

日時■7月27日(土) 午前10時～

場所■ふじさんホール(富士五湖文化センター大ホール)

※一般来場者の駐車場は、市民会館第二駐車場(旧市立病院跡地)です。当日は、駐車場が大変混雑しますので、相乗りでのご来場にご協力ください。

問合せ■秘書課 ☎内線211

軽度・中等度難聴児 補聴器購入費助成制度

身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度難聴児の、聞こえの確保と言語の発達を支援するため、補聴器購入費を助成します。

●助成対象者

次の要件をすべて満たす方

・市内に住所を有する18歳未満の方

・聴力レベルが、30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付対象とならない方

・補聴器の装用が必要と医師に判断された方

・市民税所得割額46万円以上の方がいない世帯に属する方

●助成額

補聴器の種類による基準額の範囲内で、購入費用の3分の2を助成

※購入前の申請が必要です。詳しくはお問い合わせください。

問合せ■福祉課 障害担当 ☎内線150

夏の「きこえ」と「ことば」の相談会

日時■7月15日(月)～17日(水) 午前9時～午後5時

場所■県立ろう学校

対象■0歳児～大学生

内容■育児相談、教育相談、聴力測定、補聴器相談

申込み■要予約 電話またはFAXにて

申込締切■7月12日(金) 午後3時まで

問合せ■☎0553-22-1378 FAX0553-22-6419

看護専門学校オープンキャンパス

本校の教育概要・校舎などの施設を実際に見学してご理解をいただくため、オープンキャンパスを開催します。将来、看護師をめざしている高校生・社会人の皆さんのご参加をお待ちしています。

なお、午前8時45分と午後0時50分に富士山駅より無料マイクロバスを運行します。

日時■8月3日㈯　午前9時15分～午後0時15分（午前の部）
午後1時15分～午後4時15分（午後の部）

場所■市立看護専門学校3階講堂

内容■①本校の教育概要の説明（カリキュラムの特徴、3年間の学校生活について）②入学試験の説明（平成26年度入学試験要項について、過去3年間の傾向など）③校内見学（教員・在校生による演習体験など）④看護学生との懇談

参加料■無料

申込方法■参加希望の方は、7月31日㈬までに本校庶務課に電話・e-メール・FAXにてお申し込みください。また、ホームページの「オープンキャンパスお申込み」フォームからもお申し込みいただけます。

FAXで申し込みの方は、次の事項を記入の上、申し込んでください。

高校生：①学校名および学年②住所③氏名④電話番号⑤同伴者の有無⑥バス利用の有無

社会人：①住所②氏名③年齢④電話番号⑤同伴者の有無⑥バス利用の有無

問合せ■看護専門学校庶務課
☎24-8787
FAX24-7700
http://www.fymns.ac.jp
info@fymns.ac.jp

青少年の非行・被害防止全国強化月間

7月1日（月）～31日（水）

「子どもは社会を映す鏡」です。青少年が伸び伸びと育つ環境を整え、健全に成育を図るのは、親はもちろん、大人たちの責任です。そのためには、まず、親や大人達が姿勢を正し、モラルの向上や地域の教育力を高めていくべきではないでしょうか。「大人が変われば、子どもも変わる」をスローガンに掲げた運動を推進し、青少年の心を育てる大人の輪を広げていきましょう。

＜大人が変われば　子どもも変わる運動＞

・自分自身を省みて、子どもの手本となるよう努めましょう
・子どもたちと正面から向き合い、対話を深めましょう
・社会環境を見直し、その改善に立ち上がりましょう

青少年育成富士吉田市民会議定期総会・講演会

日時■7月10日㈬　開会：午後2時～（受付：午後1時30分～）

場所■市民会館3階小ホール

講演会■**テーマ**：「児童養護施設から見た子供の現況と課題」

時間：午後3時～（定期総会終了後の開催のため、時間に多少のずれが生じます）

講師：社会福祉法人　白風会　児童養護施設ハーベスト　施設長　堀内　武氏

※講演につきましては、一般の方も参加できます。ぜひご参加ください。

青少年育成地域会議

各自治会の育成会が中心となり、地域の青少年の現状や有害環境とその改善、青少年健全育成のための具体的な取り組み、各家庭での日常的な取り組みなどが話し合われます。

日時■7月1日㈪～31日㈬

場所■各地区会館など（詳細は、回覧板などをご確認ください。地区によっては開催していないところもありますのでご注意ください。）

相談・問合せ■教育委員会生涯学習課　☎内線524

地域の集いの場 コミュニティカフェをご存知ですか？

これまで2回に渡り、認知症の病態や市内の高齢者の状況についてお知らせしてきました。地域ぐるみで見守り、支えていくことで認知症の方やその家族が安心して生活することができます。

市内にはお年寄りから子供たちまで多くの人たちが集い、楽しめる場となるような居場所としてコミュニティカフェがあります。これまでにも4カ所紹介してきましたが、今回は新たに開設された2カ所を紹介します。

ふじみサロン

今年1月13日にオープンし現在約20名の方が参加しています。みんなで詩吟、口腔体操、カラオケ、食事をするほか、年に4回のイベント、また年に1回は地域の方々を誘い盛大なお祭りなどもしています。穏やかな雰囲気で安心できる空間になっています。自分の居場所として気軽に参加してください。手作り弁当や（400円）パン（1個100円）なども用意しています。

対象者■年齢・市内・市外問わず誰でも参加できます。

場　所■渡辺宅（下吉田5279）

日　時■毎週火曜日 午前10時～午後3時

利用料■1回200円

問合せ■渡辺 ☎(22)4059

あすみやサロン

昨年6月にオープンし、地区の方が歩いて来られる身近なサロンを開催しています。「サロンに来ることでご近所とのつながりが強まりました」と皆さん。

集まっていただいた方には『自然体』に過ごしてもらいたいという室内には、にぎやかな笑い声が響いたり、刺し子に集中したりと楽しいひとときが流れています。

対象者■通ってこられる方ならどなたでも

場　所■宮下宅（ときわ台1丁目6番6-1号）

日　時■毎月第1水曜日 午後1時30分～4時30分

利用料■1回100円

問合せ■宮下 ☎(22)2085

認知症を予防するための方法として、他者とのふれあいや会話がとても有効的だと言われています。出かけることが億劫（おっくう）になってきた・・・、自信がない・・・、そんな方にとてもおすすめです。ぜひ一度足を運んでみてはいかがでしょうか。きっと自分が安心できる居場所になること間違いなしです。

問合せ■地域包括支援センター ☎内線448

Theme（テーマ） 今回は「地域で支える認知症」

Healthy magazine 健康マガジン 元気はつらつ！

住宅用火災警報器の無料配布

市では、高齢者が安心して生活ができて、また火災が発生した時に素早く避難できるように、住宅用火災警報器を下記の対象者に対し無料で配布しています。

※既に火災警報器の無料配布事業を利用された方は申請できません。

住宅用火災警報器とは・・・

煙・熱を自動的に感知して、アラーム音で火災の発生をお知らせする器具です。

火災警報器の効果とは・・・

火災による死者発生件数を火災警報器の設置の有無で比較すると、火災警報器を設置した場合、死者が約3分の1まで減少しており、設置することにより住宅火災の犠牲者が激減することが期待されます。

【対象者】

次の要件のうち一つでも該当する方が対象となります。

●要介護認定（要支援または要介護）を受けている方および要介護者を在宅で介護している方

●在宅で生活をしている65歳以上の一人暮らし、または高齢者のみの世帯

●その他（身体障害者手帳1級・2級、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳などをお持ちの方）

【配布個数】

上限4個（寝室は3個、階段は1個まで）

※寝室は対象者の寝室のみで、そのほかの家族の方の寝室は対象になりません。

※条件により配布個数が異なりますのでお問い合わせください。

申込み・問合せ■健康長寿課　高齢者担当　☎内線450

紙おむつを支給しています

市では、常時紙おむつが必要な高齢者に対して、使用枚数の一部を支給しています。

【対象者】

在宅で生活している65歳以上の高齢者、または40から64歳までの介護保険第2号被保険者で、トイレまで自分で行くことができず常に失禁状態にある人。

※ここでの失禁とは、自分の意識とは関係なく尿また便がでてしまうこと、または排泄（はいせつ）動作が困難でポータブルや尿器なども利用できない状況をいいます。尿漏れは含みません。トイレに間に合わない状態も不可です。

また、予防的に紙おむつを利用している方は対象となりません。

【利用までの流れ】

申請書提出→保健師などが訪問→利用の要否を審査→決定通知書送付→支給（支給月は年4回：（5月、8月、11月、2月）です

【申請受付】

随時申し込みを受け付けていますが、平成25年度第2期（平成25年8月）支給の申請締め切りは7月10日（水）までです。

申込み・問合せ■健康長寿課　高齢者担当　☎内線449

下吉田・上吉田地区の皆さんを対象にヘルシーレストランを開催します

「適量・適塩」って言われても・・・。いつも自分が食べている量、取っている塩分が多いのか少ないのかわからない・・・。皆さんはいかがですか。

普段、なかなか知ることができない食事のことを、実際に調理実習を通して体験することができます。また、調理のポイントや減塩の工夫など役立つ情報もいっぱいです。

時　間■午前10時～午後1時ごろ
受付：午前9時45分～

場　所■富士北麓医療センター3階　調理室

参加料■350円

持ち物■エプロン、三角巾、タオル、筆記用具など

申込み・問合せ■実施日3日前までに健康長寿課健康推進担当へ☎内線793

日程	対象地区
7月3日（水）	下吉田地区
7月10日（水）	上吉田地区

あなたの熱中症の備えは大丈夫ですか

7月、8月は熱中症で救急搬送される方がピークとなります。救急搬送された約半数が高齢者です。高齢者は暑さや喉の渇きを感じにくく、気づかないうちに脱水症に陥る場合があります。

また、子どもは、発汗機能が未熟なため熱中症になりやすいので注意が必要です。短時間でも車の中に一人にしないようにしましょう。

対策1

暑さに負けないからだをつくりましょう

本格的な暑さを迎える前にウォーキングなどの運動で汗が出やすく体温調整しやすいからだづくりをしておきましょう。運動後、30分以内に牛乳などタンパク質と糖質を含む食品をとると効果的です。

対策2

こまめに水分補給をしましょう

飲んだ水分が体に吸収されるには時間がかかるため、喉の渇きを感じる前にこまめに水やお茶を飲みましょう。スポーツなどで大量に汗をかいたときは水分と塩分のバランスがとれたスポーツドリンクがおすすめです。

対策3

体調を整えましょう

朝食や水分をとらない状態、また、寝不足状態で暑いところで活動することは避けましょう。体調がよくない時に無理に活動すると熱中症の危険が高まります。

対策4

暑さを避けましょう

外出時は日傘や帽子を利用し、日陰を選んで歩きましょう。室内では扇風機やエアコン、すだれなどを利用しましょう。また、服装は襟元を締めず、通気性が良いものがおすすめです。冷却グッズも上手に活用しましょう。

問合せ■健康長寿課　健康推進担当　☎内線637

在宅当番医による休日の初期救急診療を実施しています

夏休みシーズンの休日はけがなどの発生しやすい時期です。

軽度なけがなどで119番通報してしまうと、本当に困っている方が病院にかかる妨げになります。軽度なケガ、軽傷な病気などの場合は初期救急診療である在宅当番医（市内診療所）をご利用ください。

対応日■日曜日・祝日／**診療時間**■午前9時～午後5時
当日の在宅当番医の確認方法■

●山梨県救急医療情報センター

☎055-224-4199（毎日24時間対応）

●富士五湖消防本部テレフォンガイド

☎23-4444（毎日24時間対応（テープ））

※次の点にご注意のうえ、受診してください。
①事前に当番診療所に電話をしてから受診してください。
②日常的に服用している薬がある場合は、薬がわかるものをご用意して受診してください。

問合せ■健康長寿課　健康総務担当　☎内線794

訪問理美容事業協力事業所の追加

協力事業所名	電話番号
ヘアースタジオView	24-1784

問合せ■健康長寿課　高齢者担当　☎内線450

夏期限定

早朝健診（特定健診・がん検診）を受けてみませんか

夏の健診は暑くて気が引けるというあなた。朝の涼しい時間帯に健診を受けに行きませんか。健診を済ませ、朝の清々しさを感じながらスッキリと仕事や家事に取り組んでみてはいかがですか。

健診日■8月8日（木）・19日（月）
受付時間■午前7時10分～8時30分（通常より30分早くなっています）
場所■富士北麓医療センター
申込み・問合せ■健康長寿課　健康推進担当　☎内線794

市立病院だより

思春期早発症

小児科
医長　長嶺 健次郎

二次性徴とは、子供から大人の身体に変化していくことです。男子では精巣が発育し、男性ホルモンにより陰茎増大、陰毛、ひげの発生、声変わりの順で、女子では女性ホルモンにより乳房発育、陰毛の発生、月経発来の順で二次性徴は進行します。

二次性徴の開始時期は、男子では精巣容量が 4ml 以上になる 9.5 ～ 12.5 歳、女子では乳房発育がある 8 ～ 13 歳と個人差があります。二次性徴が早期に出現し、その結果最終身長が低身長に終わったり、心の年齢と身体の年齢のギャップから精神的発達に障害が生じたり、日常生活、学校生活に問題を生じる状態を思春期早発症といいます。主な目安は、男児で① 9 歳未満で精巣、陰茎、陰嚢の発育、② 10 歳未満で陰毛の発生、③ 11 歳未満でひげの発生や変声。女児で① 7 歳未満で乳房発育、② 8 歳未満で陰毛の発生、③ 10.5 歳で初経、になります。また多くが身長の急激な伸びを伴います。原因の多くは心配のいらないものですが、まれに脳腫瘍が原因となるため詳しい検査が必要となります。

治療目的は、最終身長の改善と精神的、社会的問題の改善があげられますが、患者家族と話し合い適応があるかどうかを判断することもあります。治療法は二次性徴の進行を抑えるホルモンの注射を 4 週間に 1 回通院して行います。治療中止時期の明確な基準はありませんが、最終身長が正常範囲内と予想される、または、成長に伴い精神的、社会的問題がクリアされた時期となります。

診療受付時間■午前 8 時 15 分～ 11 時

「筋力パワーアップ教室」の開催時間が変更になりました

4 月号の広報でお知らせしました保健推進委員主催の「筋力パワーアップ教室（昼の部：下吉田コミセン）」の開催時間が下記のとおり変更になりました。

ひとりでは運動ができないと感じている方、これから運動を始めようと考えている方におすすめです。

また、上記以外にも、「筋力パワーアップ教室（夜の部）」、「健康ウォーキング」の運動教室があります。詳細は、健康長寿課まで問い合わせください。

開催日時■7 月から来年 3 月までの第 2・4 木曜日
- 7 月・8 月：午後 1 時 30 分～ 3 時
- 9 月～来年 3 月：午後 2 時～ 3 時 30 分

年会費■1,000 円
申込み■直接会場にて
注意事項■体調に不安がある方・持病がある方は主治医と相談の上、参加を検討ください。健康管理に努めていただき、無理をしないようお願いします。
問合せ■健康長寿課　健康推進担当　☎内線 799

乳幼児健診

※受診できない場合は、下記までご連絡ください。

4カ月乳幼児健診	1歳6カ月児健診	2歳児歯とこころの相談	3歳児健診
①7月17日㈬ 平成25年2月21日～3月10日生 ②7月31日㈬ 平成25年3月11日～31日生	①7月12日㈮ 平成23年12月15日～31日生	①7月18日㈭ 平成23年2月6日～28日生	①7月19日㈮ 平成22年1月8日～31日生
【持ち物】 4 カ月児健康診査票、母子健康手帳、バスタオル、オムツ、筆記用具	【持ち物】 1 歳 6 カ月児健康診査票、食事のおたずね、母子健康手帳	【持ち物】 2 歳児歯とこころの相談健康診査票、食事のおたずね、母子健康手帳、いつも使っている歯ブラシ、フェイスタオル	【持ち物】 3 歳児健康診査票（当日までに、視力検査・聴力検査を行い、結果を問診票に記入してください）、食事のおたずね、母子健康手帳、尿

※満車時は市民会館第 2 駐車場をご利用ください。
※健診内容などの詳細は、「子どもの健康カレンダー（4 月号広報紙）」をご覧ください。

場所■富士北麓医療センター／**受付**■午後 0 時 50 分～ 1 時 10 分／**問合せ**■健康長寿課　☎内線 799

ヴァンフォーレ甲府がやって来た！

下吉田東小学校で給食を食べる羽生直剛選手

城福監督から指導を受ける子供たち

6月3日、ヴァンフォーレ甲府の海野代表取締役会長、山本英臣キャプテンらが市長を表敬訪問し、監督や選手のサイン入りのユニフォームを手渡しました。

また、6月7日には社会貢献活動の一環として市内各小学校を選手たちが訪問。選手の皆さんとの交流会では、選手がリフティングを披露し、子供たちとボールを競い合うひとコマもありました。

その後、各クラスで給食を一緒に食べ、子供たちは初めて近くで見る選手たちに緊張していましたが、選手と話しをするうちに緊張も解け、とても楽しそうな雰囲気でふれあっていました。プロサッカー選手という憧れの存在に会えたことは、子供たちにとって一生の思い出になることでしょう。

国際コモンズ学会 北富士大会

入会地や共有地などに関する世界各国の研究者が一堂に会し、研究発表を行う国際会議が6月3日から7日まで開催されました。57カ国から約420人が参加し論文などの発表のほか、地域住民が参加できるプログラムなどを展開。

ふじさんホールで開催された開会式では吉田高校書道部によるパフォーマンスや地元の太鼓演奏で会場を盛り上げました。

吉田高校書道部の作品をバックに

思いやりの心を育む

5月29日、人権の花贈呈式が吉田小学校で行われました。市人権擁護委員から児童へ人権の花とプランターの贈呈があり、最後には人権の種を付けた風船を全生徒で大空へ放ちました。生徒からは大きな歓声が上がり、会場は大変盛り上がりました。

「友だちを優しくする。困っていることがあったら助け合う」。日ごろから先生や保護者の方から教わり守っているすごく当たり前のことが、きっと人権を守るための基本なんですね。

コロラド・カレッジ学生 吉田のうどんを舌鼓

コロラド.・スプリングス市バック市長の親書を渡すジョーン・エリクソン教授

姉妹都市の米コロラド・スプリングス市からコロラドカレッジの学生ら14名の皆さんが、本市を表敬訪問しました。一行は5月24日から27日までの日程で、日本の伝統文化を学ぶプログラムの一つとして来市されました。滞在期間中には、うどん作り体験をはじめ、御師のまち並みを散歩したり、富士火焔太鼓のメンバーとの交流を深めたり、また、織物工場や歴史民族博物館の見学などを満喫しました。

また、26日には、北口本宮冨士浅間神社を参拝したのち、馬返から五合目までをハイキングし、富士山の大自然を体感していました。

100歳のお誕生日おめでとう

宮下 保さんご家族

古谷 久仁子さん

市内在住の、宮下 保（やす）さん（大明見）、武藤まささん（東町）、古谷久仁子さん（お茶屋町）の3名の方々がそれぞれ、100歳の誕生日を迎えられました。皆さん、小さなころは大変苦労されたそうですが、今日まで一生懸命に生きてこられたそうです。

また、皆さんに共通されることは好き嫌いをせず、何でも食されたそうです。いつまでもお元気でお過ごしください。

田植えより「かえる」の方が…

富士小学校では、地域学習のひとつとして地元の農家の協力をいただきながら、稲作に取り組んでいます。田植えから始まり、秋の収穫までの一連の農作業を体験し、そして、収穫したそのお米で12月には餅つきを行い、指導していただいた方々を招待し、収穫祭を行うそうです。

5月31日、この日は5年生の児童が田植え体験。作業前の指導者の話に熱心に耳を傾けてはいましたが、いざ本番では、田んぼのぬかるみに足を取られて四苦八苦。それでも懸命に作業に取り組んでいました。

MACHIKADO SALON
まちかどさろん

ひとコマ

夢中で駆け抜けた路地裏で思い出を紡ぐ

路地裏の僕たち

（志村正彦展 実行委員会）

「路地裏の僕たち」のメンバーは10人程度。共通するのは志村正彦という仲間の存在だ。

２００９年、突然惜しまれながら志村さんはこの世を去った。その弔報をメンバーは信じられず、自分の気持ちに整理が付かないまま、もんもんとした日々を過ごしていたという。

きっかけは２０１１年。自治会の文化祭で志村さんを紹介する企画が持ち上がったが、場所などの関係で実現しなかった。その時、誰が呼び掛けるわけでもなく「自分たちがやらなければいけない。」と自然にメンバーが集まったという。

その結果、路地裏の僕たちによる企画展が開催され、志村さんの縁の品や写真が展示された会場は、段ボールを切って使い、凝ったものではないけれど気持ちが込められた展示になった。２、０００人近い人が来てくれたことに、彼らは、志村さんの音楽の大きな力を感じた。

メンバーのひとり渡辺直さんは、志村さんと幼馴染みで、小学校から高校まで同じ学校に通った。幼いころは自転車で走り回り、よく狭い路地裏で野球をしたという。「まーくんは普通の人。ただ、一貫して自分の考えは曲げず、物事をやり抜く強さを持っていた。」と語る。

「本当に努力していた、自分を限界まで追い込む厳しさは、いつ寝ているかと思うほど、すごいものだった。」と振り返るのは、志村さんのことをよく知るメンバーのひとりの渡辺隆之さん。志村さんが自宅に遊びに来た時に「あんた聞かせてやるよ！」と得意げに差し出された「ペダル」という曲が隆之さんのお気に入りだ。この曲を聴くとなぜだか富士吉田の情景が想い浮かぶという。忠霊塔、月江寺の池、神社、下吉田地区の路地。昔の遊び場が、志村さんと彼らをつなぐ大切な空間であり、曲にもそういった場所を連想させるフレーズが度々登場する。

同じ時を過ごし、同じ価値観を共有してきた仲間たち。そんな彼らの笑い声の中には富士吉田で生まれ育った志村さんが重なる。

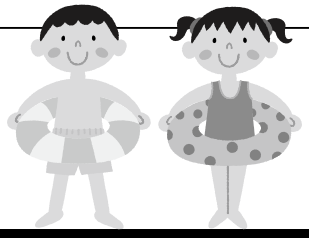
志村さんが全力でペダルをこぎ続けた29年間。彼の進んできた道の曲がり角には、時折、まだあどけない表情の路地裏の僕たちがいたのかもしれない。

※今回は、メンバーのお二人にお話を伺いました。

※志村正彦さんについては４・５ページを参照ください。

らいぶらり

～ 暮らしの中に図書館を ～



今月の新着図書

文　芸　書

- ＊若き日に薔薇を摘め（瀬戸内 寂聴・藤原 新也）
- ＊ルカの方舟（伊与原　新）
- ＊流水浮木　最後の太刀（青山　文平）
- ＊ミライノコドモ（谷川　俊太郎）
- ＊天佑なり　上・下　高橋是清　百年前の日本国債（幸田　真音）
- ＊世界地図の下書き（朝井　リョウ）
- ＊歪んだ忌日（西村　賢太）
- ＊流転の魔女（楊　逸）
- ＊ハルヒノ（加納　朋子）
- ＊正義をふりかざす君へ（真保　裕一）

児　童　書

- ＊ヤダヤダかめん（あきやま　ただし）
- ＊やまのおばけずかん（斉藤　洋）
- ＊花と昆虫の大研究（松田　喬）
- ＊ぼうけん図鑑　（ホールアース自然学校監修）
- ＊エルトゥールル号の遭難（寮　美千子）

ビジネス・くらしに役立つ生活書・教養書

- ＊魔法びんでゆでるだけ　おいしい豆のおかず（牛尾　理恵）
- ＊野菜を病気と害虫から守る本（根本　久）
- ＊間違いだらけの高齢出産（吉村　泰典）
- ＊富士山の単語帳（田部井　淳子監修）
- ＊世界を変えた 10 人の女性（池上　彰）

※新着資料については入荷の都合により貸出が遅れる場合があります。

●としょかんであそぼう

・なつのとしょレク

“としょかん名探偵－犯人をさがせっ！”
　図書館でおきるいろいろな事件を、名探偵のみんなが解決してください！
日時■7 月 31 日（水）　午前 9 時 30 分～ 11 時 30 分
場所■図書館内
内容■本のさがし方をおぼえよう
対象・定員■小学生 30 名
申込み■7 月 5 日（金）　午前 9 時 30 分～
（当日は、月末休館日ですが、参加者に限り入館できます。）

・第 1 回工作教室

日時■7 月 24 日（水）　午前 10 時～ 11 時 30 分
場所■2 階　グループ学習室
内容■紙コップでつくる びゅん・びゅん ゴマ
対象・定員■3 歳から 6 歳までの未就学児 10 名（保護者同伴）
持ち物■はさみ、クレヨン（マーカーペンなどでも可）、のり
申込み■7 月 5 日（金）　午前 9 時 30 分～

・第 2 回工作教室

日時■8 月 7 日（水）　午前 10 時～ 11 時 30 分
場所■2 階　グループ学習室
内容■スペースランド（うちゅうステーション・ロケット）
対象・定員■小学生 15 名
持ち物■はさみ、色鉛筆、木工用ボンド、のり
申込み■7 月 5 日（金）　午前 9 時 30 分～

・ＣＯＬＯＲＳとあそぼう！

日時■8 月 9 日（金）　午前 11 時～午後 2 時（開場：午前 10 時 30 分～）
場所■市民会館 3 階小ホール
内容■都留文科大学児童文化研究部による影絵や読み聞かせ、集団あそび
対象・定員■5 歳以上の児童 50 名（保護者見学可）※会場が暗くても大丈夫で、集団あそびのルールがわかる児童
持ち物■お弁当、水筒
申込み■7 月 5 日（金）　午前 9 時 30 分～
※申し込みは場所は図書館カウンターにて受付開始
※電話での申し込みは不可

●なつのこどもかい

「劇団やまいも」による人形劇『赤ずきんちゃん』
日時■8 月 3 日（土）　午後 2 時～（開場：午後 1 時 30 分～）
場所■市民会館 3 階小ホール
対象・定員■どなたでも・180 名
申込み■7 月 9 日（火）　午前 9 時 30 分～
※図書館入り口にて整理券配布

◆掲示板 》 夏休みは図書館へ

　始まれば終わるのも早い夏休み！　図書館では課題図書や夏休みの友で紹介された本、また自由研究を手助けする図鑑などを取りそろえています。
　なお、課題図書や自由研究に関連する資料には予約・貸出しが集中しますので、お早めにご利用ください。

●「社会彫刻」著：伊勢谷友介　－人類が地球に生き残るために－

　環境、政治、高齢化、教育問題など現代社会の課題は数え切れません。俳優伊勢谷友介さんは、リバースプロジェクトという会社を立ち上げ、仲間とともに切実に未来について考え、「これから」を生きるために社会課題に対して、新たな視線で挑戦し続けています。
　この著作の中では、リバースプロジェクトのメンバー、齊藤智彦さんが取り組む富士吉田市民財団設立プロジェクトが紹介されています。市民が自分たちの理想のまちづくりを自分の手で行える仕組みを構築することについての記述もあります。ぜひ、手にとってみてください！

市立図書館

☎ 22-0706
FAX 24-4831
ホームページ　http://flib.fujinet.ed.jp/
ｉモード版　http://lib.fujinet.ed.jp/i/

今月の休館日　1 日（月）・8 日（月）・15 日（月）・22 日（月）・29 日（月）・31 日（水）

～おはなしの世界への誘い～

＜このはなさくや＞による読み聞かせ

場所　図書館 1 階　おはなしコーナー

★乳児～未就園児対象
毎週木曜日
午前 10 時 30 分～ 11 時
今月は **4・11・18・25** 日

★園児～小学校低学年対象
毎月第 2・4 土曜日
午後 2 時～ 2 時 30 分
今月は **13・27** 日

ボランティアを募集

　図書館では「このはなさくや」と一緒に活動をしていただけるボランティアを募っています。子どもが好きな方、絵本が好きな方、読み聞かせをしてみたい方、図書館スタッフまでお気軽に声を掛けてください。

富嶽人物百景

竹久夢二

1884～1934

師をもたず、美術学校にも行かず、日本美術界とも一線を画し、自身の仕事を「美術家」と言わず「ゑをかくこと」と言うように、ただただ絵を描くことが好きであったのが竹久夢二です。その竹久が好んで描き、世にその名を知らしめたのが、いわゆる夢二式美人ですが、「うれいをふくんだ顔の、目が大きくつぶらで、まつ毛が長く、夢見がちだし、腺病質のような姿態が、いまにも折れそうにくねくねして、なんとも言えず、もろく美しい」と称される独特のスタイルのものでした。

竹久が、画家になることを志し、両親と住んでいた福岡から単身上京したのは、18歳のときです。そして、早稲田実業学校に入学しますが、反対する父に無断で上京したこともあって、アルバイトで自活する苦学生として日々を送りながら、画業に努めます。この当時、新聞や多くの雑誌は、その紙面を広く開放し、文章や詩や絵の投稿を受け入れていました。竹久も生活費を工面する必要もあって、22歳のときに、初めて「夢二」のサインを用いて絵を投稿しますが、これが見事に入選します。これに自信を得た竹久は学校を中退し、本格的に絵の道を歩んで行きますが、その中で出会ったのが最初の妻となる「たまき」であり、たまきと訪れたのが富士山でした。

明治42年、26歳の竹久は、2年の結婚生活ののち既に離縁していたたまきと東京で再会し、須走（現、小山町）を訪れます。そこから順調に歩を進め、林を抜けて少し行くと富士の頂上が見えてきます。これが2度目の富士登山であった竹久はそう驚きませんでしたが、「今まで襖や掛軸の絵で見馴れた富士の姿を知ってゐるものが、はじめて見たら、きっと、予想以外なのに驚くに違ひない。予想以上のことには屢々出会すが、予想以外なことは珍しい。」とその感想を述べています。

この富士登山の話しや絵も掲載された画集がシリーズで翌年から大正初めまでに約20冊刊行されますが、これが世の青年男女を魅了し、竹久夢二の名を確固としたものにしていくのです。

一合目の山小屋前のたまき
（『夢二画集　旅の巻』）

男女共同参画推進だより

新・ふじよしだ男女共同参画プランの策定

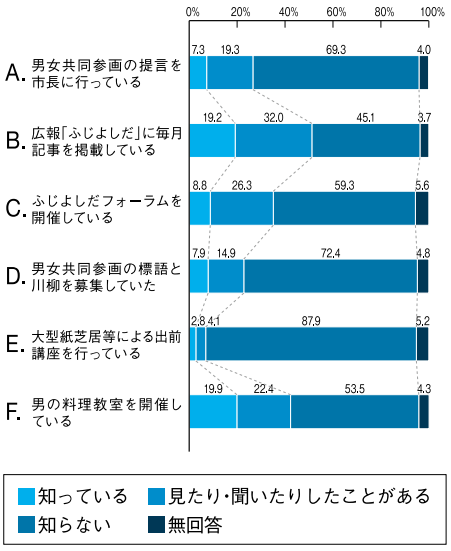
この度、ふじよしだ男女共同参画プランの策定に伴い、市民の方々に男女共同参画社会に関するアンケートのご協力をいただきました。アンケートでは750件の貴重なご意見をいただきありがとうございました。

今回は、市男女共同参画推進会議の活動に関するアンケートの一部を紹介します。私たちの活動を皆さんへ知っていただき、「男女共同参画社会の実現」に向けて、関心・興味をもっていただきたいと思います。

富士吉田市男女共同参画推進会議では、現在の「ふじよしだ男女共同参画プラン」を見直し、新たなプランの策定を行っています。この計画の策定にあたり委員の一人ひとりが、社会・経済の急激な変化と生活様式の多様化など、私たちを取り巻く社会環境の変化を十分に考慮し、より実情に即した計画を策定したいと考えます。

今後も、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを積極的・意欲的に進めていきたいと思います。

Q 男女共同参画推進会議の活動の認知状況について



せかいのくにからいらっせー

Welcome to FUJIYOSHIDA!

本市の姉妹都市であるアメリカ コロラド州コロラド･スプリング市からコロラドカレッジの大学生 12 名、引率教授 2 名が 5 月 24 日（金）から 27 日（月）までの 4 日間、本市を訪問しました。一行は、市長を表敬訪問し、うどん作り体験、織物工場、歴史民俗博物館を見学し、『富士山火焔太鼓の会』とのワークショップ、国際親善委員会のメンバーとふじやまビールで行われた歓迎会に出席しました。また、宿泊先である御師の家『大国屋』では、たっぷりと富士講の歴史につかり、さらに、富士山の麓から五合目までのハイキングも行いました。

最終日は、富士山と富士吉田の町並みを同時に一望できる絶景スポット『忠霊塔』を訪れ、本市を後にしました。

今回のコロラドカレッジの方々を始めとする多くの人たちとの出会いを大切にし、お互いに思いやりのある国際交流を続けていくことを心から願います。

Thank you everyone!! Until we meet again・・・

姉妹都市って？

市民同士の交流や、文化・スポーツ交流などを目的として、国際的に結びついた都市と都市のことです。現在、富士吉田市では、コロラド・スプリング市とフランス シャモニー・モンブラン市の 2 つの都市と交流しています。

●アメリカ コロラド・スプリングス市

アメリカ コロラド州中部に位置する都市で、富士山とロッキー山脈の山パイクスピークスが結んだ縁で、昭和 37 年 3 月 16 日から姉妹都市として交流しています。

●フランス シャモニー・モンブラン市

フランス・イタリア・スイスの三国が国境を接する場所に位置する都市で、富士山とヨーロッパアルプスの最高峰モンブランが結んだ縁で、昭和 53 年 10 月 9 日から姉妹都市として交流しています。

問合せ■市民協働推進課 国際担当 ☎内線 204

A DIFFERENT LENS 異相視点

Seeing the Forest for the Trees
－木を見て森を見ず－

国際交流員 ロビン・ローレンツ VOL.39

“留学している日本人の人数はどんどん減っているニュースを聞いて本当に残念と思います。より多くの日本人の若者に異国の文化に入って貴重な体験をしてもらいたいです。楽しく異文化や言語を学ぶことより経験したことない苦労、喜び、ストレスなどで自分自身を知り成長して帰ってほしいです。海外での勇気、自信、独立性、などの精神的な影響でより良い視点からいろんな事が見えるようになれると思います。

国際的な事を学ぶのはまるで『百聞は一見に如かず』です。そのような勉強をすると、人生の最後の最後まで残っていくと思います。世界中の政治家、ビジネスの偉い人や大勢の成功している人は海外に住み、勉強した経験があります。海外の経験で故郷に戻って普通の生活パターンで暮らしてもきっと良いインパクトがあります。

日本人の子供たちはいい子だと思います。彼らは一般のアメリカの子供より学校、家庭、部活などの行事に頑張っています。しかし、自分の安定している環境に守られすぎている子たちが多いと思います。私にとって子供は ambition（大志）、daring（勇気）、 fearless（恐れを知らない）、curiosity（好奇心）の気持ちで自分が決めた道を進むことによって大きく成長すると思います。今のグローバル社会や経済についていくために日本人の子供たちは、毎日毎日の目の前にあることしか考えていない生活から抜け出して、世界に飛び込むチャンスを作るべきだと思います。子供には大変かもしれませんが、大変だからこそ広い世界に挑戦して行きましょう。

（写真：富士学苑中学生の田植え体験）”

問合せ■市民協働推進課 国際担当 ☎内線204